

日本カプセル内視鏡学会支援

「血液透析患者における小腸カプセル内視鏡の有効性に関する多施設共同前向き研究」

Prospective Cohort study on the Efficacy of small bowel capsule Endoscopy in Dialysis patients (PROCEED Study)

研究代表者：緒方 晴彦（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

研究責任医師：細江 直樹（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）



目的

- 小腸カプセル内視鏡の多施設共同前向き研究を行い血液透析患者の消化管病変と原因不明消化管出血もしくは原因不明貧血との関連性を検討し小腸カプセル内視鏡の有用性を評価することを目的とする。

対象・選択基準

- 臨床的判断により小腸カプセル内視鏡検査を行うことが決定した維持透析患者であり、原因不明消化管出血もしくは原因不明貧血により小腸疾患が既知又は疑われる患者
以下1) 2) 3) いずれかに当てはまる維持透析患者

- 1) 上下部内視鏡を行っても出血源不明の消化管出血
- 2) 上下部内視鏡を行っても原因がなく、赤血球造血刺激因子製剤（erythropoiesis stimulating agent：ESA）不応の貧血*
- 3) 小腸出血が疑われると主治医が判断した場合

* ESA不応の貧血：ESAを投与しても目標Hb値（10g/dl以上12g/dl未満）が維持できない貧血

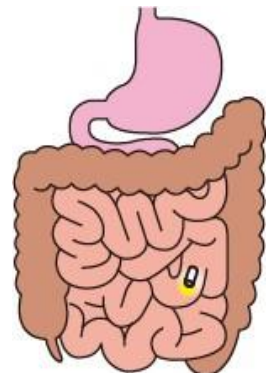
- 同意取得時に20歳以上の患者

実施期間

- 倫理審査委員会承認日～2023年12月

観察項目

- 主要評価項目
 - ・ 小腸カプセル内視鏡の小腸病変検出率
- 副次的評価項目
 - ・ 小腸カプセル内視鏡の全小腸観察率
 - ・ 小腸カプセル内視鏡の食道・胃病変検出率
 - ・ 小腸カプセル内視鏡結果と予後との関連
(OGIBもしくは原因不明貧血の要因となる病変を検出できたか否かを評価する)



募集要項

〈対象施設〉

小腸カプセル内視鏡検査を施行する日本カプセル内視鏡学会員が存在する施設であり、院内もしくは関連施設において日本透析医学会員が存在する施設。

研究参加申し込み先

* 本研究に参加するにはIDとパスワードが必要です。本研究事務局にお問い合わせください。

本研究事務局：慶應義塾大学医学部内視鏡センター

E-mail：keio.endoscopy@gmail.com

研究協力



一般社団法人

日本透析医学会

The Japanese Society for Dialysis Therapy